（別紙１）

議会報告会における市行政の要望・提言一覧

令和４年５月１０日から５月３１日にかけて開催した議会報告会において、ご要望・ご意見を頂戴しました。その内容につきまして、以下のとおり情報提供いたします。

■５月１０日（火）　２班　しゃくなげ会館
・空き家について補助金があると聞いているが、情報が周知されているのか。もっと、人が入って来られるようにしてはどうか。
■５月１０日（火）　３班　みたけ会館
・農業の担い手不足について具体策がまったく無い。地域あるいは自治会における問題点を吸い上げるような取り組みができないか常々考えている。 ・問題点を吸い上げるような場を作っていただきたい、具体的な取り組みを進めるように要望を兼ねてお伝えする。 ・支援に限らず、お互いに助け合いをするといったことも検討できるのではないか。 ・小規模農家が農業を支えていることをきちんと認識しておいてほしい。
・鈴木先生指導で「さる×はた合戦」という獣害対策をやっているが、参加者が点検などをして帰るだけでなく、何かを作って持って帰ってもらったらといった話も出てきている。もし具体的な話が出来あがったら、耕作する場所や農地の借り上げ費用を市役所が出してもらえないか。
・農協にも市長にも要望しているが、米袋 30 キロを持つことが大変になった。20 キロの米袋を作ってほしい。
■５月１２日（木）　２班　高城会館
・少子高齢化、農業の担い手不足が深刻な問題。去年は米の値段が一気に千円も下がり赤字となった。これからどのような取り組みをされるのか。定住促進、わくわく農村プラン、農業をやりたい人に補助金、法人、生産組合、横のつながりが必要なので市でプロデュースしてほしい。
・１反の田んぼを業者に委託すると 17 万円かかり、販売価格は６，７万円の実態の中でめぐみ米の補助だけでは役に立たない。スマート農業の投資も馬鹿にならない。生産組合の実働は少ない。農都を残らせるために小規模な農業を残らせる手段を考えてほしい。
・高齢化のため危険な尾根川の草刈りを今年から止めることになった。小多田３自治会で 3 キロの草刈り。県や市もやらない。道路にはみだした分のみ。これから景観なども悪くなるので維持管理をお願いしたい。 しかし、若い人が数名で補助金で全部刈る、と言ってくれたので、来年度以降の可能性として考えていきたい。
・篠山川の竹藪を伐採しているが、大水がでたときに決壊するのではないか心配だ。京口橋の辺りは河底の土砂が溜まっているようだが。

・消防団の団員が定数を満たせていない。団員を集めることに苦労している。消防団のあり方を検討してほしい。
■５月１３日（金）　２班　雲部公民館
・市内高校活性化について、中学３年生の子どもが進学を考えているところだが、市民会議の設置についてどのような方たちで構成されているのか。保護者の声を尊重してもらえる組織になっているのか。特に通学面の問題が多いので、交通の便を良くしてほしい。
・神姫バスにて朝、鳳鳴高校経由して産業高校へ、夕方は産高から鳳鳴へと運行している。現在は、3，4 人が利用されているのでもう少し PR してもらえたら良い。
・里山工房くもべについて、コロナ禍でも助成金などを利用したことで令和３年度は黒字となったが、今後はレストラン事業だけでは厳しい。新しい事業計画や多くのお客さんを迎えるために、建物の老朽化による雨漏りや厨房の床や壁など施設基盤の修繕をしたいので、ご支援いただきたい。
・雲部地区でこれといった目玉施設がないので、里山工房をシンボルとして盛り上げていきたいので、ご支援頂きたい。人口減少がひどい、高齢人口が 50％である。農業の担い手がいない。移住のネックになっているのは何か。移住は進んでいない。
・再生計画委員会の名前を建設的で発展的な名前にしてもらいたい。未来のある明るい名前にしてもらいたい。
■５月１３日（金）　３班　福住コミュニティセンター
・小グループへの講師謝礼に半額程度補助金があればいただきたい。
・数十年後には相当な世帯数の減が予想されるが、空き家や耕作放棄地も増加するだろうと思う。家主や地権者が草刈り等をしっかりしてくれるならいいが、出来ていないところもある。市に要望も出し続けるが、集落の景観にも関係してくるため、解決策について検討してほしい。
■５月１４日（土）　３班　大山緑の会館
・黒豆が全国区になっているが、収入が伴わないといけないと思う。大山のコシヒカリはとても美味しいから、もっと高額で販売できたらいいなと思っている。農作物を作る方の補助金ばかりで、売るための流通を助ける施策が乏しく、もったいないと感じている。
■５月１６日（月）　２班　コミュニティセンター城南会館
・農業やってない人の声も聞かなければいけない。農業は儲けを考えてはできない。農業やってない人も住んでいて良かったと思える村にしていきたい。
・農業委員会でパトロールに回っている。高齢化、担い手不足、農業がどの位置に市としてあるのか。これから若者が担っていく、兼業農家を守る予算をお願いしたい。
・集落営農を考えている。自治会のデジタル化、有線ではなくラインとかアプリなどの補助を頂けるように、なければ要望としたい。自治会に自主性を持たせるための ICT 化を進めて欲しい。

・人口減で水道代が高くなっていくのではないか懸念されるが、県水について働きかけていただきたい。民間委託などにならないか心配。
・真南条川、堤防がえぐられて危ないと思う箇所がある。なんとかしてもらえないのか。具体的には下村、中村辺り。応急的な処置は見て直してもらっている。土砂の浚渫もしてもらえたらうれしい。
・人口減でいかに効率的に考えるかだと思う。コンパクトシティという考え方が必要だ。東部では人口減、味間地区では家が建っている。政策として議論すべき。
■５月１８日（水）　２班　岡野文化会館
・ヨウ素剤を飲む指示は誰が出すのか。郵送料については世帯ごとではなく個人毎に出している。
・今日の新聞でデカンショ祭が開催されると記事をみたが、味まつりは開催されないと聞いている。岡野の特産である山の芋を PR する絶好の機会だったのだが、味まつりの開催について議会の中では検討されたのか。過去の出店者からの意見などは聞いた上での判断なのか。
・過疎債について、説明にあたっては篠山では 2 地区に分けられて説明とのことだが、どうなのか。できれば、小学校単位での集約をしてもらえたらうれしい。
・公共施設の維持管理は 1400 億円かかる。遊具は市内にいっぱいある。他の事業でも公園は作っているし、補助もある。その上、まち協単位でも設置する必要があるのか。
■５月２３日（月）　２班　大芋公民館
・大芋地区は現在 724 名だが、2040 年は住民が約 500 人になる、2060 年には 270 人になると予想されている。今回過疎地域に指定された。西紀北地区はへき地指定され市営住宅が建ち、若い世帯が増えて一定維持している。大芋地区にも住宅ができないのか。
・泊まれる学校大芋村としてスタートした。去年は約 1500 人の利用で 100 万円の収益があったが、コロナで 1300 人の利用を断った。本来なら 3000 人くらいは利用できる。宿泊で上限 3500 円、スタッフ 19 名 500 万の人件費を維持していくのは難しい。宿泊料金上限を上げることはできないのか。
・過疎計画について、10 年、20 年後、今日ここにいる者がどれだけいるか。もっと若い人の意見を聞いてほしい。
・敬老の日に介護者も祝ってほしい。
・老人クラブを休会した。細々と続けている小さな老人クラブにも何か少しでも助成してほしい。
■５月２４日（火）　１班　後川文化センター
・コロナ禍でお葬式も家族葬。田舎ならではの文化が失われているような気がする。後川の「ふるさと後川夏祭り」も 2 年間やってないが、デカンショ祭の開催方針では追随できない。市から指針を示してもらった方が丹波篠山市を盛り上げやすいのでは

ないか。
・市長の「ふるさと一番会議」でも常々言って来たが、過疎の問題は大きい。市長は阪神間に近く利便性が良いと言ってくれるが、やっぱり丹波篠山市の中心は城下町地区。そこへのアクセス向上の為にも城東トンネルは要望し続けたい。城東支所に消防出張所を設け、医療救急対策を充実してほしい。
■５月３０日（月）　３班　古市コミュニティ消防センター
・バス通学路から、国道に出たところに危険個所があるので、子供の安全のために抜本的な改革・対応をしてほしい。
■５月３１日（火）　１班　ハートピアセンター
・地域医療の問題、市内の２病院を市営で…みたいな話があるが、慎重に対応して欲しい。調査や検討内容も市民に知らせて欲しい。